

一緒に活動しませんか

活動するには青少年育成アドバイザーとしての資格認定をとっていただく必要があります。

その手順は次のとおりです。

① 各都道府県又はブロックで開催される「アドバイザー入門講座を受講」



② 「全日本アド連」で開催する「アドバイザー認定講座」を受講



③ アドバイザー認定申請とレポート提出



①②③を総合的に審査



資 格 認 定



全日本青少年育成アドバイザー連合会

【事務局】

〒651-1304

神戸市北区京地2丁目8-6 宮後弘満

☎078-952-1351 ☎090-8236-0376

email : hiro385hiro@yahoo.co.jp

HP : adoren.main.jp/index.html



全日本青少年育成アドバイザー連合会

子どもが伸びる

チャンスを活かそう



ご あ い さ つ

「子ども若者と共に」明るい未来を創る

青少年育成アドバイザー

全日本青少年育成アドバイザー連合会は、平成9年に発足した都道府県青少年育成アドバイザーをまとめる会員約1,300名の全国組織です。志を持ち認定された、青少年育成ボランティアの集まりです。スローガンには“子供が伸びるチャンスを活かそう”などが有ります。青少年が次代の日本を担う誇りと責任を自覚し、その輝かしい未来を自ら切り開き、希望に満ちて生きよう支援します。

青少年育成アドバイザーの認定を受けるには、入門講座と養成講座を受講する必要があります。養成講座では、青少年の心身の発達過程を理解し、その健やかな成長と自立を支援するための専門的な知識や技術を学び、地域における日常的な各種青少年育成活動の中核となる指導者を養成します。

①青少年の育成指導・教育・支援などの活動や仕事をしている人 ②青少年指導者としての知識や今日の青少年を理解する手掛かりを学びたい人 ③地元を活性化させるヒントについて学びたい人たちが皆さんの仲間です。

今年、テキスト「子ども若者と共に」が発刊され、続いて「活動事例集」が発刊予定です。



峠 テル子 会長

全国から幅広い年齢層、職種の方、色々な問題を抱き、様々な考え方を持って参加されていることに大変刺激を受けました。

生活体験が豊富な子どもは道徳観や正義感が充実するという講義の内容から、幼少期の体験・経験はとても重要であり、発達段階に経験できないと他人との関わりが困難となり、体験の欠如が連帯感・信頼感の欠如につながることを理解しました。子ども達に参画による様々な体験をさせるため、地域で環境作りに取り組むことによって、子ども達の自主性を伸ばしたいです。



広島県 長島佐加美氏

私は島根県松江市で小中学生向けの無料のプログラミン教室を開催しています。受講の目的は、私達の活動を良くするために体系的な知識を培うことです。

萩原教授の講義で「青少年発達過程についての理解と育成課題」で学んだ「バーチェ(virtue)=徳、活力」という概念です。人が不信・不安感を与えられたときに自身の「バーチェ」で解決できる。逆に様々な要因で「バーチェ」が枯渇した状態だと、不信・不安感を払拭することができにくい。このため、私達の社会教育活動の中で「バーチェ」を高めるような言葉がけ、行動を取ることが重要になる。「バーチェ」を「自己肯定感」に置き換えてみると納得できると思います。このように、私達の活動で感覚的に理解していた事象を体系的な知識で補うことができました。



島根県 高尾 宏治氏

全国の方々と知り合うことができた。

「全国各地の方々が青少年育成のために熱心に活動されているのか」と頼もしい気持ちになりました。その後、参加者の話を聞き、地域や行政で個々に様々な活動をされ、一人できることが限られますが、周囲の方と協力することで色々な発想が生まれて良い化学反応が起こせる。この研修会がきっかけで、全国の方と知合い、参加の皆様との縁を大切に、できることがあれば連携し協働していければと考えています。

受講者の声



栃木県 樋口 潤 氏

50名の参加があり「2泊3日の講義と交流会」とても刺激になり、また、山本会長から「全国青少年育成県民会議の成り立ちや育成アドバイザーの必要性等」を聞き参加の意義を深めました。子ども・大人の精神的・成長・社会での課題のSNS・スマホなど研修内容は多く、私は、保護者から相談を受理することがあり参考になりました。参加者との交流は、地域での取り組みを聞き、学ぶ事があり有意義でした。アドバイザーとしてこの学びを地域に還元できるか、先輩方にご指導いただきながら活動したいと思っています。



山口県 山根和子氏